

平成16年 6月15日
独立行政法人水資源機構中部支社

事業の進捗状況と今後の事業工程

徳山ダム建設事業においては、転流工及び基礎掘削は平成14年3月までに終了し、平成16年5月31日現在、堤体盛立量約636万m³（進捗率約46%）、洪水吐きコンクリート打設量約16万m³（進捗率約74%）に達している。

堤体盛立、洪水吐きコンクリート打設、付替国道・県道工事の進捗状況を図 - 1 ~ 3 に示す。

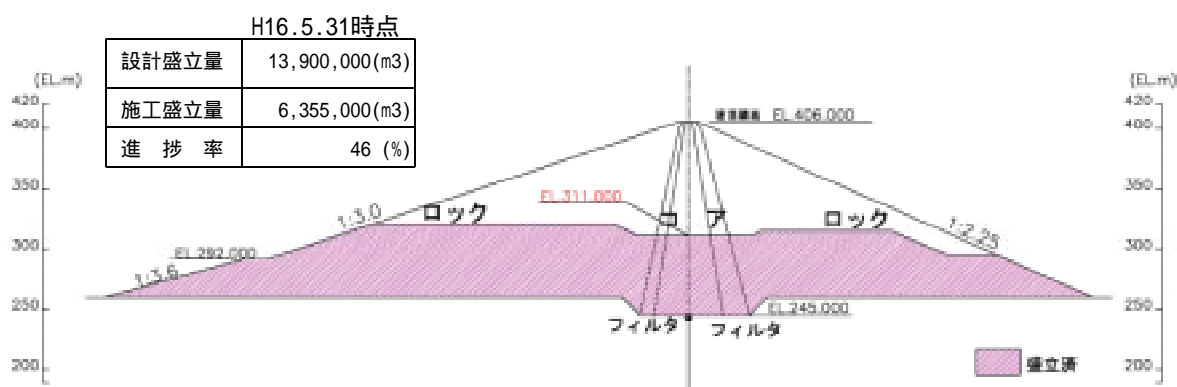


図 - 1 堤体盛立進捗状況

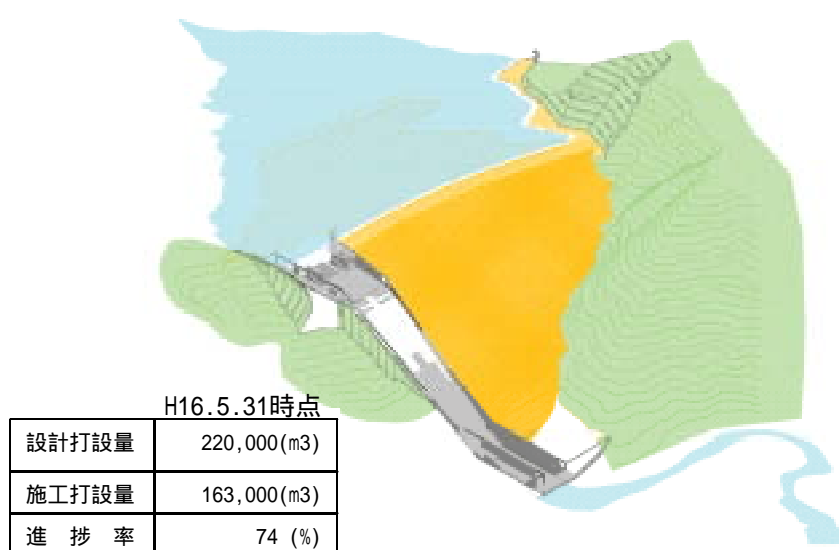


図 - 2 洪水吐きコンクリート打設進捗状況

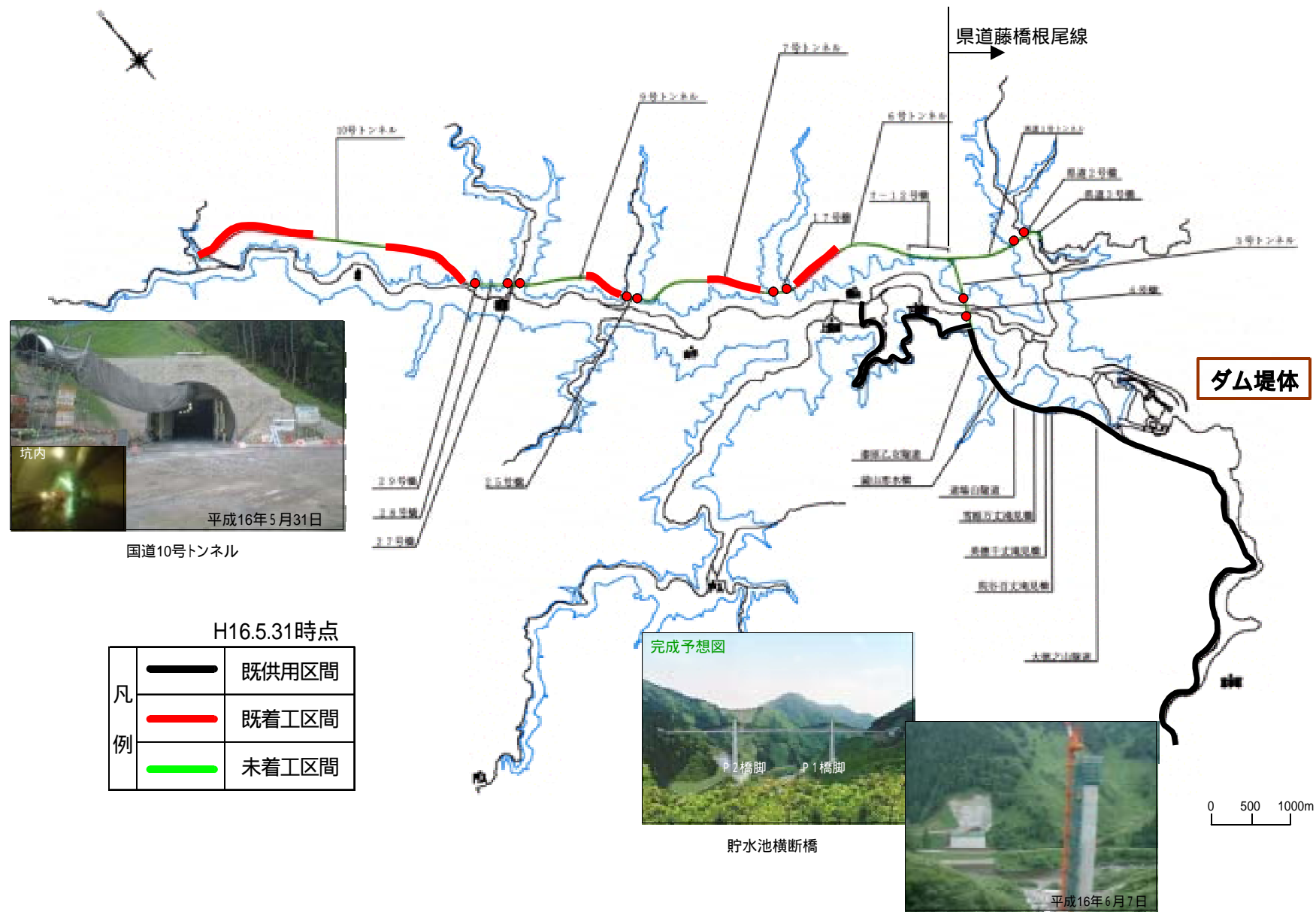


図 - 3 付替国道・県道工事進捗状況

平成16年度以降に実施する主な工事の工程は、表 - 1 に示すとおりである。

表 - 1 主要工事工程表

工事種別		平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度			平成20年度									
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
堤体工事	基礎処理	■	■	■	■	■	■	■	■	■													
	盛立	コア・フィルタ	■	■	■	■	■	■	■	■													
		ロック	■	■	■	■	■	■	■	■	■												
	堤頂設備									■													
洪水吐き工事	コンクリート打設	■	■	■	■	■	■	■	■														
	常用洪水吐き・非常用洪水吐きゲート設備	■	■	■	■	■	■	■	■														
	管理用橋梁・ゲート操作室									■	■												
放流設備	選択取水設備	■	■	■	■	■	■	■	■	■													
	利水放流設備	■	■	■	■	■	■	■	■	■													
	水位低下用放流設備	■	■	■	■	■	■	■	■	■													
管理設備																							
国道・県道付替工事	■	■	■	■	■	■	■	■	■														
試験湛水																							
管理移行																						■	

なお、変更事業費3,500億円については、表 - 2 に示すとおり平成15年度までに約2,447億円を執行しており、平成16年度以降の残事業費は、約1,053億円となっている。

今後、残る工事の進捗を図り、平成18年秋からの試験湛水開始までに完成させる。

また、付替村道・林道整備の代替措置である山林公有地化について、事業主体である岐阜県と調整を図りつつ進めていく。

表 - 2 残事業費総括表

(単位：億円)

区 分	変更事業費	平成15年度まで	残事業費	残事業の概要
建設費	3,177	2,164	1,013	
工事費	1,493	850	643	
ダム費	1,087	473	614	堤体工事(基礎処理、コアフィルタ・ロック盛立、堤頂設備) 洪水吐き工事(コンクリート打設、常用洪水吐きゲート設備・非常用洪水吐きゲート設備、管理用橋梁、ゲート操作室) 放流設備(選択取水設備、利水放流設備、水位低下用放流設備)
管理設備費	30	5	25	管理所、ゲート操作設備、雨量観測設備等
仮設備費	376	372	4	工事用道路等維持補修
測量及試験費	283	270	13	諸調査(環境調査、補償調査)
用地費及補償費	1,331	982	349	
補償費	704	665	39	一般補償、特殊補償、諸経費
補償工事費	627	317	310	国道付替、県道付替、山林公有地化
船舶及機械器具費	41	37	4	雑機械
営繕費	29	25	4	土地建物借上、事務所等撤去原形復旧
事務費等	323	283	40	
合計	3,500	2,447	1,053	